

第ニ年ニ千七百ノ郵報ガシ垂示利加
カテオモセシトス備余ヲ用テ中ノ閣下ヲ
扱メ他諸君ノ懸視シテ且優渥ナル待遇ヲ
奈フコト文以感謝ノ至ニ堪ハス

余ハ兵常口奉ノ向明道方ノ注月ヲ思フカ
ヘシ蓋シ物光ヲ覺ルニ又云フノ措置自他諸國
同様ニ明大ノ域ノ進ミトスルニ疑ヲ容レサ
ナリ

太政官

リ弊ハ有ルノ人オ多シキヲ以テ國家ノ幸福
ヲ謀ヒトス財政ニ對シテ改革ヲ施シ月令ノ
困難ヲ掃除セシムルニ盛榮繁昌ニ決シテ遠
クアツサシヘシ

余ハ海國ノ上トモ凡日本ニ於テ遺憾也
ヲ回想シ以テ決案トナスヘシ而メ余ハ日本ノ友人
諸公ニ於テ同ノ情ヲ洩スルノ日アラウコトヲ希
スルナリ

ハ十二日ヨリ五日ニ至ル
ベーカー

大隈英洲公同下

